

平成31年度入学式式辞

校長 澤山 陽一

伊予平野に広がる麦畑の青、芽吹いたばかりの山の木々の緑、そして、例年より早く開花したにもかかわらず、皆さんの入学を待っていてくれたかのように頑張っている桜の淡い桃色、まさに、春爛漫の今日の佳き日に、多数の御来賓の皆様、保護者の皆様の御臨席を賜り、平成31年度 愛媛県立伊予農業高等学校の入学式をこのように盛大に挙行できますことは、生徒並びに教職員一同の大きな喜びであり、心より厚くお礼を申し上げます。

ただ今、入学を許可しました205名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。今年は、本校にとって新たな始まりを告げる創立101年目の年であり、さらに日本にとっても新元号である「令和」のスタートの年になりました。このような記念すべき年に、新入生の皆さんとここ伊予農で出会い、同じ空間にいることを、私は校長として本当にうれしく思っています。そして、皆さんとともに過ごす三年間が楽しく充実した日々であることを願ってやみません。

ほんの一个月前、皆さんは中学生で受験生でした。皆さんが受験した本年度の国語の作文の問題を覚えていますか。その問題は、「魅力的な大人のイメージについてあなたの考えを述べなさい。」というものでした。私は、本校に赴任してきて二日目に、皆さんの書いた作文を読ませていただきました。200枚以上にわたる全員の作文を読むのは、なかなか大変なことでしたが、読んでいるうちに、まだ見ぬ皆さんに直接話しかけられているような気持ちになって、それはそれは楽しい時間となりました。

皆さんの作文では、「礼儀正しい人」や「常識のある人」、「SNSの間違った情報に踊らされることなく、的確な判断のできる人」、「当たり前が当たり前でできる人」など、マナーを守り、冷静な判断のできる大人を魅力的だと書いている人が、とても多かったように思います。中には、「テレビ番組で紹介されたショコラティエの方の『学生時代に苦手なことにチャレンジし、苦手を得意に変えた』という言葉に感銘を受けたので、自分も苦手なことにチャレンジする大人になりたい」という前向きで頼もしい意見もありました。また、「介護福祉の仕事をしている母を魅力的な大人だと感じる」、「離婚して自分のために働いている母は魅力的」、「家族のために仕事に精を出している父を魅力的だと思う」というように、自分の母親や父親を魅力的な大人だと考えている人も少なからずいました。会場にいらっしゃる保護者の皆様、ご安心ください。お子様方は一生懸命に働く皆さんの姿を魅了的だと感じてくれているのです。たとえ言葉には表さなくても、お子様の感謝の気持ちは、この作文を読んだ私にはひしひしと伝わってきました。

因みに、私が最も気に入った作文は、「私が大人になったら、マナーが良く、仕事もできて、部下などにも優しく接し、『憧れの大人』と思われるような、そんな

人になりたいです」というものでした。特に「仕事ができる大人になりたい」というところが気に入りました。

私は、「仕事ができる大人」は、とても魅力的な大人ではないかと思っています。仕事を通じて、多くの人を幸せにすることができるとも思っています。ですから、新入生の皆さんには、本校でしっかり勉強し、卒業した後は、それぞれの職場で「伊予農の卒業生は、やっぱり仕事ができる」と言われるような人になってほしいと強く願っています。

私は今、「仕事のできる人」と言いましたが、どういう人が「仕事のできる人」なのでしょう。明治大学教授の齋藤孝先生は、「仕事のできる人」は「段取り力」と「コミュニケーション力」のある人だとおっしゃっています。「段取り力」とは、その仕事をするのにまず何が必要なのか、重要なポイントは何かなどを想像して準備をする力であり、コミュニケーション力とは、他人と心を通わせて協力できる力だといえるでしょう。専門高校である本校は、実験や実習、地域と連携した活動などを通して、「仕事のできる人」になるチャンスがたくさんあります。ぜひ、この2つの力を意識して、これからの三年間、学校で過ごす約1000日を心を込めて丁寧に生活していきましょう。☺

今から1000日後に、皆さんが自分の夢に向かって本校を飛び立っていけるよう、私たち教職員も精いっぱい皆さんをサポートするつもりです。どうか、私たちを信じて、ともに努力していきましょう。

最後になりましたが、保護者の皆様、本日はおめでとうございます。

お子様は、これから高校生活を通じて自立の道を歩むこととなりますが、伊予農業高校を卒業するときには、故郷に貢献できる健康な体と健全な精神を身に付け、自信にあふれ光り輝くたくましい若者となれるよう、私たち教職員は心を込めてお子様と向き合っていきたいと思っています。

ここに改めて、本校の教育活動に対する御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。式辞といたします。